様式第２号（第１３条関係）

遺伝子組換え生物等の国内移動に係る情報提供

平成　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　殿

　本遺伝子組換え生物等は「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」第２条６項による第二種使用を行っているものであるので、同法第２６条第１項の規定により、以下のとおり情報提供を行います。

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 |  |
| 部署名・職名 |  |
| 氏名 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| 宿主又は親生物の名称（名称がないと  き又は不明であるときはその旨） |  |
| 遺伝子組換え生物等の系統とその名称  （マウス、ラット等動物の場合にはその  系統を記載 | 系統： |
| 名称： |
| 供与核酸の名称 |  |
| 譲渡者が施行規則第１６条第１項第１号、第２号又は第４号に基づく使用等をしている場合にはその旨（注１） |  |
| 拡散防止措置レベル |  |
| 当該遺伝子組換え生物等を使用している本財団での遺伝子組換え実験計画の承認番号 |  |
| その他（特に適切に取り扱うために必要な情報） |  |
| 譲渡日（譲受日）の予定日 | 平成　　　年　　　月　　　日 |

1. 施行規則等第１６条（抜粋）

　　　（主務大臣の確認の適用除外）

　第１６条　法第１３条第１項の主務省令で定める場合は、次に掲げる場合とする。

　　一　人の生命若しくは身体の保護のための措置又は非常災害に対する応急の措置として、緊急に遺伝子組換え生物等の第二種使用等をする必要がある場合として主務大臣が別に定める場合

　　二　法第１７条、第３１条又は第３２条に基づく検査を実施するため、又はその準備を行うため、必要最小限の第二種使用をする場合

　　三　（略）

　　四　法の規定に違反して使用等がなされた遺伝子組換え生物等の拡散を防止するため、必要最小限の第二種使用等をする場合

様式第３号（第２３条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　終了

遺伝子組換え実験　　　　中止（注１）　　　報告書

不実施

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験責任者  ※ | | | 機関等の所在地 | (〒　　　　　　) | | |
| 所属・職名 |  | | |
| 氏名 |  | | |
| ※課題名（第二種使用等の名称） | | | |  | | |
| 実験場所 | | 名称・所在地 | | (〒　　　　　　) | | |
|  | | 連絡先（注２） | | (〒　　　　　　) | | |
| 実験の開始及び終了日 | | | | 年　　月　　日　～　　　年　　月　　日 | | |
| 実験の終了又は中止に伴う措置 | 実験によって得られた遺伝子組換え生物等の管理に関する措置（注３） | | | 管理の対象となる遺伝子組換えの生物等の概要（注４） | |  |
| 措置の区分（注５） | | 処分  移管  保管又は他の実験活用 |
| 移管の場合の責任者  （注６） | 機関等の所在地 | (〒　　　　　　) |
| 所属・職名 |  |
| 氏名 |  |
| 他の実験に活用する場合の実験計画の概要 | |  |
| 実験従事者の健康状態等（注７） | | |  | | |
| ※  実験を中止した理由又は実施しなかった理由（注８） | | | |  | | |

1. 終了、中止、不実施のいずれかを○で囲むこと。不実施の場合は、表中※印欄のみ記入すること。
2. 連絡者の学部等・職・氏名を記載すること。
3. 実験の終了又は中止時において実験責任者の管理下にあるものを対象とする。
4. 保管している書類及び組換え体等の数量について、簡明に記入すること。
5. 該当する項目を○で囲むこと。
6. 複数の者に分割して移管する場合は、別葉とする。
7. 実験中における実験に伴う異常の有無を記入すること。
8. 具体的理由を記入すること。
9. 用紙の大きさは、日本工業規格A列４とする。